

三重県

**令和4年度 DX寺子屋
第9回 現場改善コース
2022年10月26日**

東京大学グリーンICTプロジェクト（GUTP）ステアリング委員
株式会社GUTPコンサルティング 代表
（金型屋二代目） 中島高英

©2022 GUTP CONSULTING

1

1

グループ学習にあたり

©2022 GUTP CONSULTING

2

2

DX寺子屋でお伝えしたかったこと

- ・DX寺子屋ではデータを用いて、自分事として考えること。
- ・データを自分事として考えるにあたり、カーボンニュートラルへの取り組みこそ絶好の機会である。特にEP100は重要である。
- ・EP100はDXという道具を使うとよい。
- ・DXという道具を使う時に、生産性、リードタイム、自動化率の指標を用いるとよい。
- ・グループ学習は「講義」から自分たちで考えることを経験すること。

グループ学習にあたり

グループ学習の意義

一人では感じられない、喜びを経験できること。

→コツは「他の人に役立つ事（発言やちょっとした行動）をする」

グループ学習の目的

仲間づくり

データを取る、データで考える、人に伝えるという大変さを共有する。

グループ学習の効果

会社を持ち帰り、グループ学習を試めせる。

☆ **Think together**
(一緒に考えましょう)

☆ **Challenge together**
(一緒に取組みましょう)